

ぷらっと立ち寄り
お茶を飲み会話しながら
趣味や仕事を楽しむ場です

ぷらっとホーム[®] おゆみ野

～2024年、放課後モノ作り教室の始動！～

放課後の子ども達、ぷらっと教室に集まれ

千葉市の小学校ではアフタースクール制度が導入され始めており、おゆみ野地域の小学校も、きたる令和8年度に導入予定です。それまでの間、地域の子ども達に多様な体験の場を提供すべく、本年2月よりプラザ学園前集会所(おゆみ野中央1-25-14)でワークショップ(放課後モノ作り教室)を開催することとしました。日時は第4火曜日(8月はお休み)の午後3時～4時。受講料は無料です(モニター期間中は材料費も無料)。放課後の子供達の居場所として、学年や世代を越えた友達作りの場として、多くの子ども達が参加してくれたら…と願っています。子ども達と共にモノ作りを楽しみたい大人達も是非、ご参加下さい。では「モノ作り教室」の目的と活動内容を紹介しましょう。

目的は「モノ作りを通じた実体験」

手は「第二の脳」といわれる重要な部位です。手や指の神経は脳とつながっていますので、指先などを動かして脳の血流量を高めることが、脳の神経細胞の発達がめざましい乳幼児(直感的思考期)には勿論、物忘れが気になる高齢者にとっても有意義なのです。特に、思考に論理性が伴うようになる小学生の時期(具体的操作期)は、実際に物を作ったり操作すること(実体験)が、重さ・長さ・距離などの数的概念の理解を深める上で、非常に重要です。「数学が得意な中学生」を目指す小学生、そのような子ども達の成長を見守りながら、自身の「物忘れ」を予防したい方、私たちと共に「放課後モノ作り教室」で手先を動かしてみませんか？

「放課後モノ作り教室」での活動

「放課後モノ作り教室」の活動内容は、認知症カフェ(ぷらっとカフェ)で行うワークショップ(紙飛行機作り、カード作りなど)と同一ですが、特に教育的効果の高い教材を用意している点が特徴です。紙飛行機作りは「算数(図形分野)を意識した教材」、カード作りでは「情景を思い描くことができ、想像を膨らませることができる教材(詩を読みながらカード、お手紙カード、キャラクターカードなど)」等が一例です。保護者同伴でなければ参加できない「ぷらっとカフェ」に対し、お子様だけで参加できる点が最大の特徴！そのため、万一教室内で事故が発生した場合、責任は負いかねますことを予めご了解下さい。

次回の「ぷらっとカフェ」は年2月8日(第2木曜日)、「放課後モノ作り教室」は2月27日(第4火曜日)プラザ学園前集会所です。